

長野県産シダ植物の新産地 (9)

上野 勝典*・上野 由貴枝*

New localities of some pteridophytes in Nagano Prefecture (9)

Katsunori Ueno and Yukie Ueno

アマクサシダ (イノモトソウ科)

Pteris dispar 写真 1・天龍村中井侍 300 m 2014 年 3 月 15 日
NAC70447

比較的日あたりの良いスギ林縁の林道沿いを歩いていたとき、アマクサシダが法面に 2 株生育しているのを見つけた。アマクサシダは関東地方以西の太平洋側に見られる暖地性の常緑のシダで、やや日あたりのよい乾燥気味のところに生育している。頂羽片が著しく大きく、側羽片が前側と後ろ側とで非対称となり、特徴のある形をしている。オオバノハチジョウシダに形は似ているが、より小型で軸が細い。長野県では天龍村神原で大塚孝一氏によって 1975 年に初めて採られた記録があるが(清水 1997)、その後道路改修により長野県で絶滅したとされていた(長野県 2002)。今回見つかった場所は神原から少し離れた場所であり新産地であるが、近年進出してきた可能性がある。

マツザカシダ (イノモトソウ科)

Pteris nipponica 写真 2・天龍村坂部 300 m 2014 年 10 月 11 日
NAC171917

急斜面のスギ林を歩いていたとき、マツザカシダが群落を作っているのを発見した。個体数は比較的多く、20 株近くはあるものと思われる。マツザカシダはオオバノイノモトソウによく似ているが、側羽片が多くても 2 対程度で、色がやや黒っぽい緑色をしており、また葉質もより硬く、羽片の平行な部分がより長いために、全体的にずんぐりした印象がある。頂羽片にやや長めの柄があることが多い。本種は長野県では 1997 年に藤原陸夫氏により天龍村中井侍で 2 株が発見されていたが(大塚 2001)、今回は別の場所であり、また株数も多く見つかった。近くでは愛知県側の東栄町にて何度か見たことがある。

ウラジロ (ウラジロ科) *Gleichenia japonica*・高森町下市田 450 m 2014 年 10 月 26 日
NAC170444

北向きの急斜面のスギ林において、沢状にくぼんだ斜面にウラジロが数株で生育しているのを見つけた。近くでは飯田市座光寺でも見られ、長野県での北限に近いものと思われる。ウラジロは常緑の暖地性シダで、葉の裏が白くお正月のお飾りに用いられる。

ヌリトラノオ (チャセンシダ科)

Asplenium normale・天龍村坂部 300 m 2014 年 11 月 3 日
NAC171924

急斜面のスギ林下、スギの根元に着生するように一株のヌリトラノオが生育しているのを見つけた。天竜川の対岸にもヌリトラノオが少数ながら生育している場所がある。ヌリトラノオは常緑の暖地性シダで、中軸の先端付近に無性芽をつける。以前大桑村でも観察したことがある。

イワヘゴ (オシダ科) *Dryopteris atrata*・飯田市南信濃 550 m 2014 年 11 月 3 日
NAC171925

スギ林の林道沿いの法面に一株のイワヘゴが生育しているのを見つけた。イワヘゴはオオクジャクシダに似るが、葉の色がより濃い緑色をしており、脈のへこみは少なく、胞子囊群は縁寄りに分布し、葉柄基部の鱗片は黒い。またより暖かいところに生育している。長野県では分布は県南部に限られていたが、近年、県中部でも見られるようになってきた(上野・上野 2013)。

オニヒカゲワラビ (イワデンダ科)

Diplazium nipponicum 写真 3・飯田市南信濃 550 m 2014 年 10 月 4 日
NAC171920

やや緩やかな北向きの斜面のスギ林下で、キヨス

* 上野勝典・上野由貴枝 〒399-0011 松本市寿北 2-2-38

ミヒメワラビやナンゴクナライシダが多く生育していたが、それに混じって数株のオニヒカゲワラビを見つけた。本種は飯田市の木下義彦氏より、2012年に飯田市南信濃でオニヒカゲワラビらしきものを見たご連絡いただいております、今回確認することができた。オニヒカゲワラビの仲間は区別が難しいものが多いが、本種は裂片の脈が二股のものが主で、単条のものが混じり、葉柄基部の鱗片には辺縁に突起があり、また包膜の縁は不規則に避けるなどの特徴がある。オニヒカゲワラビは長野県では飯山市小菅と野沢温泉村でのみ知られており（大塚 1984、清水 1994）、今回南部で初めて確認された。近くでは、以前天竜川沿いの愛知県側でオニヒカゲワラビの群落を見たことがある。

エゾデンダ（ウラボシ科） *Polypodium virginianum*
・ 辰野市上島 900 m 2013年4月6日
NAC170442

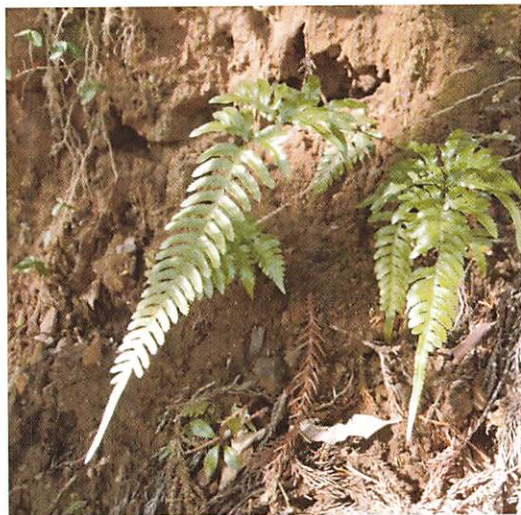


写真1 アマクサシダ 天龍村 2014年3月15日



写真2 マツザカシダ 天龍村 2014年10月11日

道路脇のコンクリート壁の縁にエゾデンダの群落があるのを見つけた。エゾデンダはオシャグジデンダによく似ているが、より質が厚く、胞子嚢群は縁寄りにつき、また裏面の中軸は無毛である。長野県では中部を中心に分布しており、日本における分布の南限に近い。以前、塩尻市の木曽谷側で見ているが、今回伊那谷側で確認され、長野県内の分布の南限と思われる。

謝辞

シダ植物の同定ならびに本報告の作成にあたり、貴重な助言をいただきました長野県環境保全研究所&ハーバリウム (NAC) の大塚孝一様に心より感謝の意を表します。

引用文献

- 大塚孝一 (1984) 長野県のシダ植物雑記 (1).
長野県植物研究会誌 17: 32-33.
大塚孝一 (2001) 長野県のシダ植物雑記 (9).
長野県植物研究会誌 34: 35-40.
清水建美監修 (1997) 長野県植物誌. 信濃毎日新聞社.
長野県 (2002) 長野県版レッドデータブック 維管束植物編. 長野県自然公園協会.
上野勝典・上野由貴枝 (2013) 長野県産シダ植物の新産地 (7). 長野県植物研究会誌 46: 119-123.



写真3 オニヒカゲワラビ 飯田市
2014年10月4日